

令和6年11月6日

各関係機関の長 殿

金沢大学がん進展制御研究所長

鈴木 健之

金沢大学がん進展制御研究所特任助教の公募について（依頼）

謹啓 時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、金沢大学がん進展制御研究所では「がん微小環境研究プログラム・腫瘍細胞生物学研究分野（分野主任・平田 英周）」において、下記の要項により公募を行うことになりました。

つきましては、貴機関関係者への周知及び適任者の推薦についてご高配を賜りたくお願い申し上げます。

記

(1) 公募人員： 特任助教 1名（任期は令和10年3月31日まで・再任不可）

※本学に在職中のものが継続して本教員となる場合の任期は、その在職期間も通算して10年を超えない範囲

(2) 給与： 国立大学法人金沢大学特任教員の就業に関する規則による

(3) 公募研究領域：

当研究分野では原発性・転移性脳腫瘍を研究対象とし、特に脳腫瘍微小環境の細胞分子基盤の解明に取り組んでいます。具体的には中枢神経系特異的な微小環境におけるがん細胞とグリア細胞の双方向性エピジェネティクス制御機構と分子標的治療に対する耐性、および神経免疫システム再構成への関わりに着目して研究を進めています。研究手法として独自に開発したマウスモデルや初代培養細胞株による共培養系を中心として、最先端の顕微鏡を用いたライブイメージングや生化学実験、病理学的評価、マルチオミックス解析など多岐に渡るアプローチを用いています。以上から、本公募では細胞分子生物学の手法に精通し、これらの研究を主体的に進めることができる人材を求めています。

(4) 着任(採用)時期: 令和7年4月1日以降のできるだけ早い時期

(5) 応募資格:

- ・上記公募研究領域での研究実績があり、特任助教として本研究プロジェクトを推進できる優れた研究者
- ・博士の学位を有する方(着任までの取得見込みも含む)

(6) 応募書類: A4に記載のこと(様式は問いません)。

- |                             |     |
|-----------------------------|-----|
| ①履歴書(高校卒業以降)(写真貼付)          | 1部  |
| ②業績(著書、原著、総説および特許など)目録      | 1部  |
| ③主要研究論文(総説を含む)5編以内          | 各1部 |
| ④業績の概要(1,200字程度)            | 1部  |
| ⑤研究に対する抱負(1,200字程度)         | 1部  |
| ⑥外部研究資金獲得状況(過去5年間)          | 1部  |
| ⑦本人について評価できる研究者の氏名(2名)及び連絡先 |     |

※履歴書にはメールアドレス及び連絡先をご記入ください。

※選考の過程において、講演や面談のためにご来学いただく場合があります(交通費の支給はいたしません)。なお、ご来学が難しい場合、インターネットでの面接を行う場合があります。

※提出いただきました履歴書等の書類は、個人情報に留意して処理いたします。

(7) 応募締切: 令和6年12月25日(水) 17時(必着)

(8) 書類提出先及び問い合わせ先:

<書類提出先> (E-mailにて受け付けます)

事務担当: 金沢大学医薬保健系事務部薬学・がん研支援課企画総務係

E-mail: y-somu@adm.kanazawa-u.ac.jp

※すべての提出書類について、PDFファイルへ変換し、一つの圧縮ファイルにまとめ、上記の事務担当アドレス宛に、【がん進展制御研究所特任助教応募】という件名でE-mailで送付してください。添付ファイルが10MBを超える場合は、ファイル送信サービス等を利用して提出してください。

メール受取後、事務担当から受取の連絡をいたします。2営業日を経過しても受取連絡の返信がない場合は、事務担当まで連絡願います。

<問い合わせ先>

選考委員長 城村 由和 E-mail: johmuray@staff.kanazawa-u.ac.jp

(9)その他:

※金沢大学では、ダイバーシティ研究教育環境の整備を推進しています。詳しくは下記の URL をご覧下さい。

<https://ipdi.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

※男女共同参画社会基本法の趣旨に則り、がん進展制御研究所では女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

※給与や任期等に関する規程の詳細は、下記の URL をご覧下さい。

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/university/administration/regulation/rule>